

四 防災に必要な施設設備及び物資需給等の状況

- 1 病院一覧表 3 4
- 2 大分県災害派遣福祉チームの状況 3 5
- 3 大分県災害派遣精神医療チームの状況 3 6
- 4 市町村上水道、簡易水道の施設能力状況 3 7

1. 病院一覧表

おおいた医療情報ほっとネットを参照。

URL	http://www.pref.oita.jp/site/bosaianzen/iryo-joho.html
検索キーワード	「おおいた医療情報ほっとネット」

2. 大分県災害派遣福祉チーム（大分DWA T）の状況

1. 大分DWA Tの活動内容 DWA T（Disaster Welfare Assistance Team）

大規模災害発生時に、一次避難所等において、高齢者や障がい者等の要配慮者に対する支援を行う福祉チーム。避難が長期化し、二次被害が生じるおそれがある場合に、発災後3～5日後から1週間程度派遣を行う。

福祉ニーズの把握

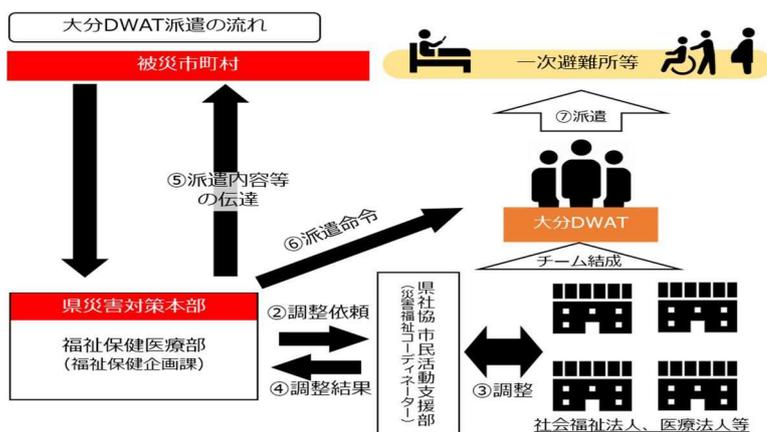
二次スクリーニング（劣悪な環境に長期間滞在することでの介護疲れや症状悪化を踏まえた福祉避難所への移送）

相談対応と介護が必要な場合の応急的な支援

避難環境の整備（福祉避難スペースの整備や避難所の段差解消、車椅子の動線確保等）

福祉避難所の開設、運営支援

2. 派遣の流れ



3. 登録状況（R4.4.1現在）

大分DWA T登録者数

45法人227名登録

登録者の保有資格

資格名	人数
介護福祉士	113
社会福祉士	60
介護支援専門員	37
看護師	25

その他、理学療法士、精神保健福祉士等が若干名在籍

2種類以上の資格を持つ方は複数回計上

登録者が勤務する主な施設

高齢者施設・事業所、障害児者支援施設・事業所、児童養護施設 など

3 . 大分県災害派遣精神医療チーム（大分県 DPAT）の状況

大分県 D P A T（Disaster Psychiatric Assistance Team）とは

大分県内外で、自然災害や犯罪事件・航空機・列車故等の集団災害が発生し、被災地域の精神保健医療機能が一時的に低下したり、災害ストレス等により新たに精神的問題が生じる事態が生じた時に、被災地域の住民や支援者に対して「こころのケア」の活動を行う専門家チーム。

主な活動内容

- 1 情報収集とアセスメント
- 2 情報発信
- 3 災害によって障害された既存の精神医療システムの支援
（避難所等での診察・必要時の投薬・精神科医療機関へのつなぎ・紹介状の発行等）
- 4 災害のストレスによって新たに生じた精神的問題を抱える一般住民への対応（個別面接・集団指導等）
- 5 支援者（地域の医療従事者、救急隊員、行政職、保健職等）の支援
- 6 普及啓発等

チームの構成

精神科医師をチームリーダーとし、看護師・保健師・臨床心理士・精神保健福祉士・事務職員等を構成とする。1チームおおむね4～5名程度。

（災害の状況・規模などによって編成や人数を決定。）

派遣要請

県内外から派遣要請を受け、大分県障害福祉課長が大分県 D P A T の出動が必要と認めたとときに、登録隊員の中から派遣可能な隊員を確保し、隊員を被災地等に派遣する。

登録状況

令和4年4月1日現在、隊員登録数102名

（医師13名・看護師22名・その他職種67名）

4. 市町村上水道、簡易水道の施設能力状況

(令和3年3月31日現在)

市町村名	上水道		簡易水道(公営)		備考
	水源箇所数	1日最大給水量(m ³)	水源箇所数	1日最大給水量(m ³)	
大分市	12	195,800	-	-	
別府市	21	60,100	-	-	
中津市	33	27,500	-	-	
日田市	40	29,201	-	-	
佐伯市	121	40,714	-	-	
臼杵市	29	29,700	2	413	
津久見市	11	9,400	7	560	
竹田市	3	6,000	23	4,936	
豊後高田市	19	6,700	-	-	
杵築市	24	12,838	-	-	
宇佐市	44	20,200	-	-	
豊後大野市	34	10,820	1	138	
由布市	24	21,800	-	-	
国東市	51	6,850	-	-	
姫島村	-	-	3	1,600	
日出町	15	15,500	-	-	
九重町	-	-	10	2,087	
玖珠町	9	6,160	3	136	
計	490	499,283	49	9,870	